



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1989, 58(1)

ISSUE DATE:

1989-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/203864>

RIGHT:

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 1 January 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 1 号

昭和64年1月1日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch Jpn Chir)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室



キロサイド注に 新規格(5mL:100mg 10mL:200mg)登場!



代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤



劇指
要指

キロサイド®注

(シタラビン製剤)

- 急性白血病に——寛解導入・維持療法
- 固型腫瘍に——多剤併用療法
- 膀胱腫瘍に——膀胱内注入療法

効能・効果, 用法・用量, 使用上の注意等の詳細は
添付文書をご参照ください。



日本新薬

〈601〉京都市南区西大路通八条

日本外科宝函購読・投稿規定(昭. 60. 1. 改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月および11月の各月1日に発行する。状況により臨時増刊を発行する。
- 予約購読料は昭和56年度より年額6,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊1,500円とする。予約購読希望者は1年間購読料を添え日本外科宝函編集部に申し込まれたい。
- 掲載論文の著者および共著者は本誌予約購読者でなければならない。
- 投稿原稿は編集者において必要と認める場合, 加筆・訂正することがある。
- 和文原稿は400字詰原稿用紙に横書きとし, 新かなづかいを用いること。なお, ワードプロセッサー使用の場合は, 1行20字×20ℓ=400字をもって1枚とし, 一行おきにプリントすること。
- 欧文原稿は, タイプライターあるいは, 欧文専用のワードプロセッサーで作成する。
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題および欧文抄録, 欧文原稿には和文表題および和文抄録を添付されたい。
原著論文, 総説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿の用語中, 欧文固有名詞の頭文字は大文字を, 数字は原則としてアラビア数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなで書くこと, 欧文中の人名にはアンダーラインを引くこと(文献を除く)。
- 数量の単位は下記の例による。
例: m, cm, mm, ml, kg, g, °C, μ, %, pH など。
- Key words 日本語, 英語のそれぞれ5語を選定し, 表題の下に記入すること。また欧文で文献請求宛名(Present address)を記入されたい。著者の所属は正式名称に従われたい。
- 挿画, 図などは白紙または青色方眼紙に黒で清書し, 直ちに凸版製作可能な状態で送付されたい(学会発表などのスライド原稿は, 太字を用いることが多い

ため不適当である)。その挿入位置は原稿に記入のこと。

○表, 写真などは, すべて別紙に記入もしくは添付し, 挿入箇所を原稿に記入のこと。

○引用文献は一括して原稿末尾に記載する。原則として Index Medicus に準じアルファベット順に並び, 日本語文献も筆頭者のローマ字名のアルファベット順に並べること, 著者名は3名までとし, その後はその他として省略する。

例。

- 1) Faris TD, Dkians AJ, Marchioro TL, et al: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg Gyn Obst 123: 1261-1273, 1966.
- 2) 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学 6: 769-782, 昭26.
- 3) Sissons HA: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone edited by Bourne. GH, New York, Academic Press Inc 1956, p. 72.
- 4) 所 安夫: 脳腫瘍。東京, 医学書院, 昭34.
- 5) Wolf S, Wolf HG: Human Gastric Function, London, Oxford University Press, 1943.

○掲載料は1頁欧文9,000円, 和文8,000円, 図表, 写真, アート紙の使用コロタイプ, カラー図版などは著者の実費負担をする。

○別刷希望の場合は, 投稿と同時に希望部数を申し込まれたい。別刷は1頁20円を申しつける。

○原稿, 図表は必ずコピーを一部添付し送付されたい。

○原稿は完全なものとして御送付願いたい。著者校正の際における加筆訂正は認めない。

○原稿は書留郵便で下記編集室宛に送付されたい。原稿が当編集室へ到着した日付を受付日とする。

○なお原則として原稿は返却しない。

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部外科整形外科教室内

日本外科宝函編集室宛

TEL (075) 751-3659

昭和63年12月20日印刷

昭和64年1月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町54
伴 敏 彦

印刷者

京都市上京区下立売通小川東入
中 西 亮

印刷所

京都市上京区下立売通小川東入
中西印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 伴 敏 彦

(振替口座 京都 4-3691)

本誌に掲載された論文の無断転載を禁じます。

ARCHIV

Für

Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 2 March 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 2 号

平成元年 3 月 1 日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch Jpn Chir)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室



キロサイド注に 新規格(5ml:100mg 10ml:200mg)登場!



1ml:20mg



2ml:40mg



3ml:60mg



5ml:100mg



10ml:200mg



劇指
要指

代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤

キロサイド®注

(シタラビン製剤)

- 急性白血病に——寛解導入・維持療法
- 固型腫瘍に——多剤併用療法
- 膀胱腫瘍に——膀胱内注入療法

効能・効果, 用法・用量, 使用上の注意等の詳細は
添付文書をご参照ください。



日本新薬

〈601〉京都市南区西大路通八条

ARCHIV

Für

Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 3 Mai 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 3 号

平成元年 5 月 1 日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch Jpn Chir)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室



キロサイド注に 新規格(5mℓ:100mg 10mℓ:200mg)登場!



劇指
要指

代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤

キロサイド®注

(シタラビン製剤)

- 急性白血病に——寛解導入・維持療法
- 固型腫瘍に——多剤併用療法
- 膀胱腫瘍に——膀胱内注入療法

効能・効果, 用法・用量, 使用上の注意等の詳細は
添付文書をご参照ください。



日本新薬

〈601〉京都市南区西大路通八条

日本外科宝函購読・投稿規定(昭. 60. 1. 改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月および11月の各月1日に発行する。状況により臨時増刊を発行する。
- 予約購読料は昭和56年度より年額6,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊1,500円とする。予約購読希望者は1年間購読料を添え日本外科宝函編集部に申し込まれたい。
- 掲載論文の著者および共著者は本誌予約購読者でなければならない。
- 投稿原稿は編集者において必要と認める場合, 加筆・訂正することがある。
- 和文原稿は400字詰原稿用紙に横書きとし, 新かなづかいを用いること。なお, ワードプロセッサー使用の場合は, 1行20字×20ℓ=400字をもって1枚とし, 一行おきにプリントすること。
- 欧文原稿は, タイプライターあるいは, 欧文専用のワードプロセッサーで作成する。
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題および欧文抄録, 欧文原稿には和文表題および和文抄録を添付されたい。
原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿の用語中, 欧文固有名詞の頭文字は大文字を, 数字は原則としてアラビア数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなで書くこと, 欧文中の人名にはアンダーラインを引くこと(文献を除く)。
- 数量の単位は下記の例による。
例: m, cm, mm, ml, kg, g, °C, μ, %, pH など。
- Key words 日本語, 英語のそれぞれ5語を選定し, 表題の下に記入すること。また欧文で文献請求宛名(Present address)を記入されたい。著者の所属は正式名称に従われたい。
- 挿画, 図などは白紙または青色方眼紙に黒で清書し, 直ちに凸版製作可能な状態で送付されたい(学会発表などのスライド原稿は, 太字を用いることが多い

ため不適当である)。その挿入位置は原稿に記入のこと。

- 表, 写真などは, すべて別紙に記入もしくは添付し, 挿入箇所を原稿に記入のこと。
- 引用文献は一括して原稿末尾に記載する。原則として Index Medicus に準じアルファベット順に並べ, 日本語文献も筆頭者のローマ字名のアルファベット順に並べること, 著者名は3名までとし, その後はその他として省略する。

例。

- 1) Faris TD, Dkians AJ, Marchioro TL, et al: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg Gyn Obst 123: 1261-1273, 1966.
 - 2) 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 6: 769-782, 昭26.
 - 3) Sissons HA: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone edited by Bourne. GH, New York, Academic Press Inc 1956, p. 72.
 - 4) 所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.
 - 5) Wolf S, Wolf HG: Human Gastric Function, London, Oxford University Press, 1943.
- 掲載料は1頁欧文9,000円, 和文8,000円, 図表, 写真, アート紙の使用コロタイプ, カラー図版などは著者の実費負担をする。
 - 別刷希望の場合は, 投稿と同時に希望部数を申し込まれたい。別刷は1頁20円を申しつける。
 - 原稿, 図表は必ずコピーを一部添付し送付されたい。
 - 原稿は完全なものとして御送付願いたい。著者校正の際における加筆訂正は認めない。
 - 原稿は書留郵便で下記編集室宛に送付されたい。原稿が当編集室へ到着した日付を受付日とする。
 - なお原則として原稿は返却しない。

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部外科整形外科教室内

日本外科宝函編集室宛

TEL (075) 751-3659

平成元年4月20日印刷

平成元年5月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町54

伴 敏 彦

印刷者

京都市上京区下立売通小川東入

中 西 亮

印刷所

京都市上京区下立売通小川東入

中西印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 小 澤 和 恵

(振替口座 京都 4-3691)

本誌に掲載された論文の無断転載を禁じます。

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 4 Juli 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 4 号

平成元年 7 月 1 日発行

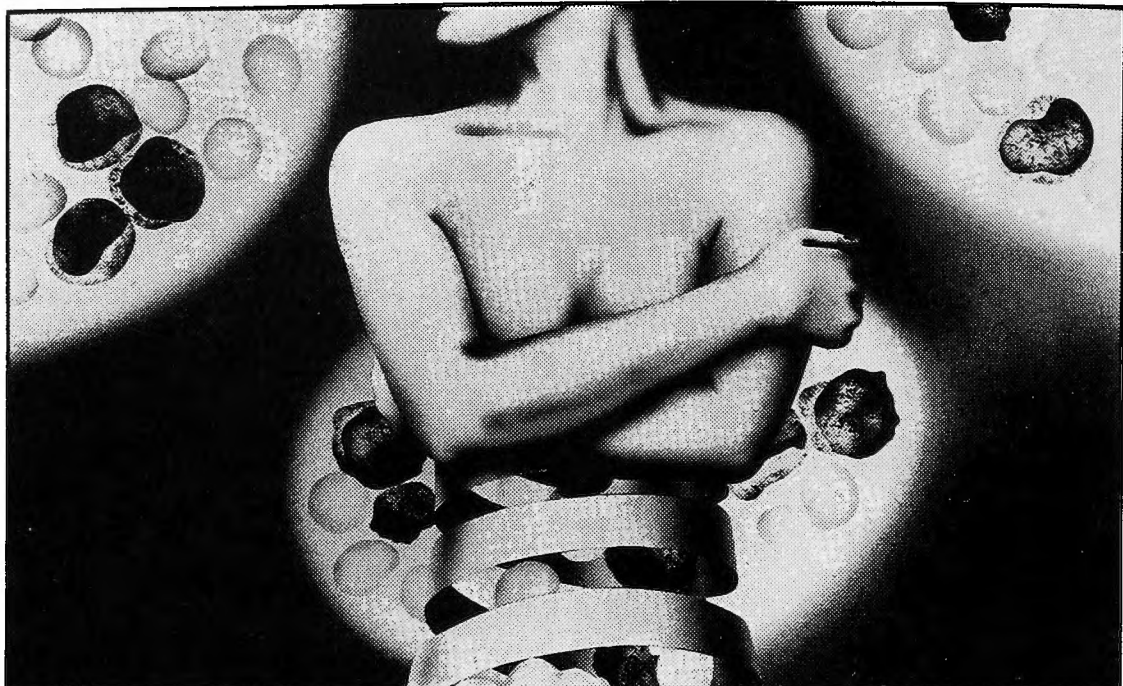
CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

(Arch Jpn Chir)

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室



白血病・癌腫・膀胱腫瘍にAra-C療法

代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤



剤指
要指

キロサイド[®]注

(シタラビン製剤)

効能・効果

- 1) 急性白血病 (赤白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化例を含む)。
- 2) 消化器癌 (胃癌、胆のう癌、胆道癌、肺癌、結腸癌、直腸癌等)、肺癌、乳癌、女性性器癌 (子宮癌、卵巣癌等) 等。ただし他の抗腫瘍剤 (5-フルオロウラシル、マイトマイシンC、シクロホスファミド、クロモマイシンA₃、アモブテリン〈メトレキサート〉、ビンクリスチン、ビンブラスチン等) と併用する場合に限る。

3) 膀胱腫瘍

使用上の注意

(1) 一般的注意

- 1) 骨髄機能抑制等の重篤な副作用が起こることがあるので、頻回に臨床検査 (血液検査、肝機能・腎機能検査等) を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には減量、休薬等の適切な処置を行うこと。また、使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、遷延性に推移することがあるので、投与は慎重に行うこと。
- 2) 感染症・出血傾向の発現又は増悪に十分注意すること。
- 3) 小児に投与する場合には、副作用の発現に特に注意し、慎重に投与すること。
- 4) 小児及び生殖可能な年齢の患者に投与する必要がある場合には、性腺に対する影響を考慮すること。

(2) 次の患者には投与しないこと

本剤に対する重篤な過敏症の既往歴のある患者

(3) 次の患者には慎重に投与すること

- 1) 肝障害のある患者 2) 腎障害のある患者
- 3) 骨髄機能抑制のある患者 4) 感染症を合併している患者

(4) 副作用

- 1) 血 液 白血球減少、また、ときに血小板減少、出血、貧血、巨赤芽球様細胞の発現等の症状があらわれることがある。
- 2) 消 化 器 悪心・嘔吐、食欲不振、腹痛、下痢、また、ときに口内炎等の症状があらわれることがある。
- 3) シ ョ ッ ク まれにショック症状を起こすことがあるので、悪寒、発熱、血圧低下、胸内苦悶、呼吸困難等の症状が現れた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 4) 過 敏 症 ときに発疹等の過敏症状があらわれることがある。
- 5) 精神神経系 倦怠感、また、ときに頭痛等の症状があらわれることがある。
- 6) 肝 臓 まれに肝障害があらわれることがある。
- 7) 泌 尿 器 膀胱内注入療法の場合、頻尿、排尿痛、膀胱炎、血尿等の膀胱刺激症状があらわれることがある。
- 8) そ の 他 ときに発熱があらわれることがある。

※用法・用量、その他の使用上の注意は添付文書をご参照ください。



日本新薬

資料請求先
日本新薬株式会社・学術部
〒800 京都府東山区西門町1-1

日本外科宝函購読・投稿規定(昭. 60. 1. 改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月および11月の各月1日に発行する。状況により臨時増刊を発行する。
- 予約購読料は昭和56年度より年額6,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊1,500円とする。予約購読希望者は1年間購読料を添え日本外科宝函編集部に申し込まれたい。
- 掲載論文の著者および共著者は本誌予約購読者でなければならない。
- 投稿原稿は編集者において必要と認める場合, 加筆・訂正することがある。
- 和文原稿は400字詰原稿用紙に横書きとし, 新かなづかいを用いること。なお, ワードプロセッサー使用の場合は, 1行20字×20ℓ=400字をもって1枚とし, 一行おきにプリントすること。
- 欧文原稿は, タイプライターあるいは, 欧文専用のワードプロセッサで作成する。
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題および欧文抄録, 欧文原稿には和文表題および和文抄録を添付されたい。
原著論文, 総説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿の用語中, 欧文固有名詞の頭文字は大文字を, 数字は原則としてアラビア数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなで書くこと, 欧文中の人名にはアンダーラインを引くこと(文献を除く)。
- 数量の単位は下記の例による。
例: m, cm, mm, ml, kg, g, °C, μ, %, pH など。
- Key words 日本語, 英語のそれぞれ5語を選定し, 表題の下に記入すること。また欧文で文献請求宛名(Present address)を記入されたい。著者の所属は正式名称に従われたい。
- 挿画, 図などは白紙または青色方眼紙に黒で清書し, 直ちに凸版製作可能な状態で送付されたい(学会発表などのスライド原稿は, 太字を用いることが多い

ため不適当である)。その挿入位置は原稿に記入のこと。

- 表, 写真などは, すべて別紙に記入もしくは添付し, 挿入箇所を原稿に記入のこと。
- 引用文献は一括して原稿末尾に記載する。原則として Index Medicus に準じアルファベット順に並べ, 日本語文献も筆頭者のローマ字名のアルファベット順に並べること, 著者名は3名までとし, その後はその他として省略する。

例。

- 1) Faris TD, Dkians AJ, Marchioro TL, et al: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg Gyn Obst **123**: 1261-1273, 1966.
- 2) 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学 **6**: 769-782, 昭26.
- 3) Sissons HA: The growth of bone. /n The Biochemistry and Physiology of Bone edited by Bourne. GH, New York, Academic Press Inc 1956, p. 72.
- 4) 所 安夫: 脳腫瘍。東京, 医学書院, 昭34.
- 5) Wolf S, Wolf HG: Human Gastric Function, London, Oxford University Press, 1943.

○掲載料は1頁欧文9,000円, 和文8,000円, 図表, 写真, アート紙の使用コロタイプ, カラー図版などは著者の実費負担をする。

○別刷希望の場合は, 投稿と同時に希望部数を申し込まれたい。別刷は1頁20円を申しうける。

○原稿, 図表は必ずコピーを一部添付し送付されたい。

○原稿は完全なものとして御送付願いたい。著者校正の際における加筆訂正は認めない。

○原稿は書留郵便で下記編集室宛に送付されたい。原稿が当編集室へ到着した日付を受付日とする。

○なお原則として原稿は返却しない。

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部外科整形外科教室内

日本外科宝函編集室宛

TEL (075) 751-3659

平成元年6月20日印刷

平成元年7月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町54

小 澤 和 恵

京都市上京区下立売通小川東入

印刷者

中 西 亮

京都市上京区下立売通小川東入

印刷所

中西印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 小 澤 和 恵

(振替口座 京都 4-3691)

本誌に掲載された論文の無断転載を禁じます。

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 5 Sept. 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 5 号

平成元年 9 月 1 日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

Arch Jpn Chir

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室

白血病・癌腫・膀胱腫瘍にAra-C療法

代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤



(指)
(指)

キロサイド® 注

(シタラビン製剤)

効能・効果

- 1) 急性白血病(赤白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化例を含む)。
- 2) 消化器癌(胃癌、胆のう癌、胆道癌、肝癌、結腸癌、直腸癌等)、肺癌、乳癌、女性性器癌(子宮癌、卵巣癌等)等。ただし他の抗腫瘍剤(5-フルオロウラシル、マイトマイシンC、シクロホスファミド、クロモマイシンA₃、アメトブテリン、メトレキサート、ビンクリスチン、ビンブラスチン等)と併用する場合に限る。
- 3) 膀胱腫瘍

使用上の注意

(1) 一般的注意

- 1) 骨髄機能抑制等の重篤な副作用が起こることがあるので、頻回(1週間)に臨床検査(血液検査、肝機能・腎機能検査等)を行うなど、患者の状態を十分に観察すること。異常が認められた場合には減量、休薬等の適切な処置を行うこと。また、使用が長期間にわたると副作用が強くあらわれ、遅延性に推移することがあるので、投与は慎重に行うこと。
- 2) 感染症・出血傾向の発現又は増悪に十分注意すること。
- 3) 小児に投与する場合には、副作用の発現に特に注意し、慎重に投与すること。
- 4) 小児及び生殖可能な年齢の患者に投与する必要がある場合には、性腺に対する影響を考慮すること。

(2) 次の患者には投与しないこと

本剤に対する重篤な過敏性の既往歴のある患者

(3) 次の患者には慎重に投与すること

- 1) 肝障害のある患者 2) 腎障害のある患者
- 3) 骨髄機能抑制のある患者 4) 感染症を合併している患者

(4) 副作用

- | | |
|------------|---|
| 1) 血 液 | 白血球減少、また、ときに血小板減少、出血、貧血、巨赤芽球様細胞の発現等の症状があらわれることがある。 |
| 2) 消 化 器 | 悪心・嘔吐、食欲不振、腹痛、下痢、また、ときに口内炎等の症状があらわれることがある。 |
| 3) シ ョ ッ ク | まれにショック症状を起こすことがあるので、悪寒、発熱、血圧低下、胸内苦悶、呼吸困難等の症状が現れた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。 |
| 4) 過 敏 症 | ときに発疹等の過敏症状があらわれることがある。 |
| 5) 精神神経系 | 倦怠感、また、ときに頭痛等の症状があらわれることがある。 |
| 6) 肝 臓 | まれに肝障害があらわれることがある。 |
| 7) 泌 尿 器 | 膀胱内注入療法の場合、頻尿、排尿痛、膀胱炎、血尿等の膀胱刺激症状があらわれることがある。 |
| 8) そ の 他 | ときに発熱があらわれることがある。 |

※用法・用量、その他の使用上の注意は添付文書をご参照ください。



日本新薬

(資料請求先)

日本新薬株式会社・学術部
〒601 京都市南区西大路八条下ル

日本外科宝函購読・投稿規定(昭. 60. 1. 改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月および11月の各月1日に発行する。状況により臨時増刊を発行する。
- 予約購読料は昭和56年度より年額6,000円(送料を含む)とし, 分売は1冊1,500円とする。予約購読希望者は1年間購読料を添え日本外科宝函編集部に申し込まれたい。
- 掲載論文の著者および共著者は本誌予約購読者でなければならぬ。
- 投稿原稿は編集者において必要と認める場合, 加筆・訂正することがある。
- 和文原稿は400字詰原稿用紙に横書きとし, 新かなづかいを用いること。なお, ワードプロセッサ使用の場合は, 1行20字×20行=400字をもって1枚とし, 一行おきにプリントすること。
- 欧文原稿は, タイプライターあるいは, 欧文専用のワードプロセッサで作成する。
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題および欧文抄録, 欧文原稿には和文表題および和文抄録を添付されたい。
原著論文, 綜説, 臨床, 400字詰40枚以内(図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内(図表共)
- 原稿の用語中, 欧文固有名詞の頭文字は大文字を, 数字は原則としてアラビア数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなで書くこと, 欧文中の人名にはアンダーラインを引くこと(文献を除く)。
- 数量の単位は下記の例による。
例: m, cm, mm, ml, kg, g, °C, μ, %, pH など。
- Key words 日本語, 英語のそれぞれ5語を選定し, 表題の下に記入すること。また欧文で文献請求宛名(Present address)を記入されたい。著者の所属は正式名称に従われたい。
- 挿画, 図などは白紙または青色方眼紙に黒で清書し, 直ちに凸版製作可能の状態で送付されたい(学会発表などのスライド原稿は, 太字を用いることが多い

ため不適当である)。その挿入位置は原稿に記入のこと。

- 表, 写真などは, すべて別紙に記入もしくは添付し, 挿入箇所を原稿に記入のこと。
- 引用文献は一括して原稿末尾に記載する。原則として Index Medicus に準じアルファベット順に並べ, 日本語文献も筆頭者のローマ字名のアルファベット順に並べること, 著者名は3名までとし, その後はその他として省略する。

例。

- 1) Faris TD, Dkians AJ, Marchioro TL, et al: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg Gyn Obst **123**: 1261-1273, 1966.
- 2) 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床. 最新医学 **6**: 769-782, 昭26.
- 3) Sissons HA: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone edited by Bourne. GH, New York, Academic Press Inc 1956, p. 72.
- 4) 所 安夫: 脳腫瘍. 東京, 医学書院, 昭34.
- 5) Wolf S, Wolf HG: Human Gastric Function, London, Oxford University Press, 1943.

○掲載料は1頁欧文9,000円, 和文8,000円, 図表, 写真, アート紙の使用コロタイプ, カラー図版などは著者の実費負担をする。

○別刷希望の場合は, 投稿と同時に希望部数を申し込まれたい。別刷は1頁20円を申しつける。

○原稿, 図表は必ずコピーを一部添付し送付されたい。

○原稿は完全なものとして御送付願いたい。著者校正の際における加筆訂正は認めない。

○原稿は書留郵便で下記編集室宛に送付されたい。原稿が当編集室へ到着した日付を受付日とする。

○なお原則として原稿は返却しない。

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部外科整形外科教室内

日本外科宝函編集室宛

☎ (075) 751-3659

平成元年8月20日印刷

平成元年9月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町54

小 澤 和 恵

印刷者

京都市上京区下立売通小川東入

中 西 亮

印刷所

京都市上京区下立売通小川東入

中西印刷株式会社

京都大学医学部外科整形外科学教室

発行所

日本外科宝函編集室

代表者 小 澤 和 恵

(振替口座 京都 4-3691)

本誌に掲載された論文の無断転載を禁じます。

ARCHIV
Für
Japanische Chirurgie

Bd. 58 Nr. 6 November 1, 1989

日本外科宝函

第 58 卷 第 6 号

平成元年11月1日発行

CHIRURGISCHE UNIVERSITAETSKLINIK
KYOTO JAPAN

Arch Jpn Chir

京都大学医学部外科整形外科学教室内

(日 外 宝)

日本外科宝函編集室



めまいに!

抗めまい剤 平衡障害治療剤



セファドール[®]錠・顆粒

(塩酸ジフェニドール製剤)

セファドールはめまいと密接な関係にある循環・神経系の両面に作用を示します。

- 患側椎骨動脈の攣縮血管のみを緩解し、血流量のアンバランスを是正する。
- めまいの原因となる異常インパルスを前庭神経核および視床下部レベルで抑制する。
- 眼振を抑制する。

〈効能・効果〉内耳障害にもつづめまい。

〈用法・用量〉①セファドール錠：通常成人1回1～2錠、1日3回経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。

②セファドール顆粒：通常1回0.25～0.5g (塩酸ジフェニドールとして25～50mg)を1日3回経口投与する。

使用上の注意

- ①次の患者には投与しないこと／(1)重篤な腎機能障害のある患者(2)本剤に過敏症の既往歴のある患者
- ②次の患者には慎重に投与すること／(1)緑内障の患者(2)薬疹、蕁麻疹等の既往歴のある患者(3)痲呆症のある患者
- ③副作用
 - (1)精神神経系／ときに浮動感・不安定感があらわれることがあるので観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には減量又は投与を中止すること。またときに頭痛、頭重感等の症状があらわれることがある。
 - (2)過敏症／ときに発疹、蕁麻疹等の症状があらわれることがある。このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
 - (3)眼／ときに調節障害が、またまれに散瞳等の症状があらわれることがある。このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。
 - (4)消化器／口渇が、またときに食欲不振、胃・腹部不快感、胸やけ、悪心・嘔吐、胃痛等の症状があらわれることがある。
 - (5)その他／ときに傾眠、動悸、顔面熱感、またまれに口内違和感、排尿困難があらわれることがある。



日本新薬

資料請求先

日本新薬株式会社・学術部
〒601 京都市南区西大路八条下ル

CONTENTS OF VOLUME 58

Topics

Improvement of Problems in Gallstone Surgery.....	MASAKI FUJIMURA (1)
New Trends in Diagnosis and Treatment for Chronic Pancreatitis.....	TAKASHI SUZUKI (191)
My Philosophy of Medicine.....	MOTOICHI SETOYAMA (273)
Analysis of Mode of Cancer Recurrence	TAKASHI SUZUKI (345)
Study on Kupffer Cell from the View Point of Liver Surgery	SHIGEKI ARII (389)
Boron Neutron Capture Therapy	YOSHIFUMI ODA (473)

Original Articles

Possible Role of Cholecystokinin in the Development of Acute Pancreatitis in Rats	HISAYUKI SHINNYA, et al (3)
A Novel Experimental Approach to Immunotherapy against Malignant Brain Tumor with the Mouse IFN- γ Gene Transfer	KIYOSHI NISHIHARA (18)
Alteration of Regional Calcium and Energy Metabolism in Ischemic Neuronal Injury	SHUICHI KOBAYASHI (43)
Lipid Peroxidation and Change in Xanthine Oxidase in Cerebral Ischemia.....	YUJI KINUTA (59)
Degradation of Cytoskeletal Proteins in Cerebral Ischemia	NOBUYOSHI OGATA (71)
Changes of Muscarinic Cholinergic Receptors and Cholinergic Neurons in Experimental Hydrocephalic Rat Brain	TAKASHI SAKAMOTO (80)
The Change of Muscarinic Cholinergic Receptor and Choline Acetyltransferase in the Experimental Ischemic Brain	HIKARU MIZOBUCHI (93)
Induction of LAK Cells and CTL of Patients with Brain Tumor and Research of Its Clinical Application	AKIHITO MORIKI (107)
Effects of Glucagon and Insulin on Poly (ADP-ribose) Polymerase Activity and Blood Ketone Ratio after Partial Hepatectomy in Rats.....	MASAO KAWAMURA, et al (119)
Evaluation of Somatosensory Evoked Potential in Temporary Occlusion of Cerebral Artery	
1. Experimental Study in Cats.....	YOKO NAKASU (193)
Evaluation of Somatosensory Evoked Potentials in Temporary Occlusion of Cerebral Artery	
2. Intraoperative Monitoring during Internal Carotid and Middle Cerebral Artery Aneurysm Surgery.....	YOKO NAKASU (206)
Sacral Anomaly and Pelvic Floor Muscle in Imperforate Anus: A Clinical and Experimental Study.....	YUKIHIRO INOMATA, et al (217)
Use of Fibrin Glue (Beriplant P) for Neurosurgical Practice	JYOJI HANDA, et al (231)
Study on CAZ Levels in Serum, Urine and Myocardial Tissue during and Open-Heart Surgery with Cardiopulmonary Bypass	SHINJI MURATA, et al (236)
Experimental Study on the Interruption of Hepatic Blood Flow in Obstructive Jaundice, with Special Reference to the Causes of Death and after Prolonged Jaundice after Biliary Decompression	YOSHIKATSU OKADA (275)

Cholescintigraphic Observation of the Sphincter of Oddi Motor Activity in Patients with Gallstone.....	YOZO AOKI, et al (289)
Single-Daily-Dose Treatment of Ceftriaxone for Biliary Tract Infections and Bacterial Counts in Bile.....	HIROSHI TANIMURA, et al (299)
Effect of Intrapleural and/or Intraperitoneal Lentinan Therapy on Cartinomatous Pleuritis and Peritonitis with Specific Reference to Immunological Evaluation	SHIGEFUMI YOSHINO, et al (310)
Experimental Studies on Bile Acid Metabolism after Extended Hepatectomy, with Special Reference to Mechanism of an Early Increase of Bile Acids in the Serum	KOJI TAYA (347)
Anal Cancer: Current Concepts and Treatment Results	RAYMUND HORCH, et al (391)
Ergebnisse der Behandlung des Leberechinokokkus durch Hydatektomie	RAYMUND HORCH, et al (398)
Studies on Neurotensin	
1. Effects on Gallbladder Motility	MASAKI FUJIMURA (405)
Studies on Neurotensin	
2. Release of Neurotensin	MASAKI FUJIMURA (414)
Experimental Studies on Pharmacologic Protection of the Brain against Focal Ischemia	
1. Focal Brain Ischemia Model in Rats.....	AKIHIKO SHIINO (431)
Experimental Studies on Pharmacologic Protection of the Brain against Focal Ischemia	
2. Effects of KB-2796 and Nicardipine on Focal Brain Ischemia in Rats	AKIHIKO SHIINO (438)
Pharmacokinetics and Antimicrobial Effect of Cafminox in Serum and Asitic Fluid for Experimental Purulent in Mice	YOSHINORI AZUMA, et al (445)
Changes of the Kallikrein-Kinin System in Acute Phase of Hemorrhagic and Septic Shock.....	MASAAKI MIYAMOTO, et al (475)
An Experimental Approach to Specific Adoptive Immunotherapy for Malignant • Brain Tumors	TOSHIKI YAMASAKI, et al (485)

Clinical Studies

Treatment of Anal Fissure: A Comparison of Three Different of Therapy	GERALD DENK GIEBEL, et al (126)
MRI of Brainstem Contusion	TATSUYA OKADA, et al (134)
Osteoclast-like Giant Cell Tumor of the Pancreas Associated with Cystadenocarcinoma	YOZO AOKI, et al (452)
The Studies on Clinical Efficacy of Tomiron® in the Surgical Patients: Skin and Soft Tissue Infection.....	NOBUAKI KOBAYASHI, et al (493)

Case Reports

Calcification of Spinal Cord Tumors: Report of Two Cases	JITSUHIKO SHIKATA, et al (140)
Brain Tumors Associated with Hemorrhage from Tumors as Their First Manifestation	SHINICHI OTSUKA, et al (147)
A Case Report of Acute Obstructive Suppurative Cholangitis in a Non-O-1 Vibrio Cholerae Biliary Carrier	MASAHIRO NISHIKAWA, et al (155)

Epidermoid Tumor Presenting with Trigeminal Neuralgia and Ipsilateral Hemifacial Spasm: A Case Report.....	SHIN-ICHI OTSUKA, et al (245)
Usefulness of Galactography for Minimal Noninvasive Ductal Carcinoma of the Breast.....	MINEKATSU NISHIDA, et al (250)
Angiographically Occult Vascular Malformations in the Posterior Fossa.....	KAZUMITSU KYOSHIMA, et al (257)
A Case of Concomitant Association of Duodenal Carcinoma and Jejunal Carcinoma with Cerebral Metastasis	MASAAKI MIYAMOTO, et al (360)
Acute Aortic Occlusion.....	MASAHIKO MATSUMOTO, et al (461)
Communicating Hydrocephalus Occurred in the Postoperative Course of Glioblastoma Multiforme	SEIICHI ANDO, et al (508)
A Case of Mediastinal Neurilemmoma Diagnosed by X-ray Guided Needle Biopsy	MASASHI, SUO, et al (513)
Pneumothorax, Subcutaneous Emphysema and Mediastinal Emphysema in Transnasally Intubated Patients.	MASAYUKI NAKAJIMA, et al (522)
Etiological Consideration of Neonatal Gastric Rupture : Assumption of Possible Association with Gastric Volvulus and Gastroesophageal Reflux	NOBUHIKO TANIGAWA, et al (527)

第 58 卷 総 目 次

話 題

胆石症手術における問題点の改良について	藤 村 昌 樹 (1)
慢性肝炎の診療	
——新しい動向をめぐって	鈴 木 敏 (191)
医療理念	瀬 田 元 一 (273)
癌再発と切除術式の反省	鈴 木 敏 (345)
肝臓外科とクッパー細胞	有 井 滋 樹 (389)
中性子捕捉療法の再認識	織 田 祥 史 (473)

原 著

ラット急性肝炎におけるコレシストキニンの役割について	新 屋 久 幸, 他 (3)
外来性インターフェロナーガンマ遺伝子導入による悪性	
脳腫瘍に対する新しい免疫療法に関する実験的研究	西 原 毅 (18)
虚血性神経細胞障害における脳局所カルシウムとエネルギー代謝の変化	小 林 修 一 (43)
脳虚血における脂質過酸化およびキサンチンオキシダーゼの変化	絹 田 祐 司 (59)
実験的脳虚血における細胞骨格蛋白質の分解の意義に関する研究	緒 方 伸 好 (71)
実験水頭症ラット脳における muscarinic cholinergic receptor および	
cholinergic neuron の変化	坂 本 貴 志 (80)
実験的虚血脳における muscarinic cholinergic receptor および choline	
acetyltransferase の変化	溝 渕 光 (93)
脳腫 患者における LAK 細胞, CTL の誘導およびその臨床応用の検討	森 本 章 人 (107)
ラッ、肝切除後再生肝臓核内 Poly (ADP-ribose) 合成酵素活性および血中	
アトニ体比に与えるグルカゴン・インスリンの効果	河 村 正 生, 他 (119)
一時的脳血流遮断における体性知覚誘発電位	
1. 実験的評価	中 洲 庸 子 (193)
一時的脳血流遮断における体性知覚誘発電位	
2. 内頸動脈, 中大脳動脈の脳動脈瘤手術中記録における評価	中 洲 庸 子 (206)
鎖肛における仙椎奇形と骨盤底筋群の関係に関する臨床的実験的研究	猪 股 裕 紀 洋, 他 (217)
脳神経外科領域におけるフィブリン接着剤 (ペリプラスト P) の応用	半 田 譲 二, 他 (231)
本外循環を用いた開心術における Cefazidime (CAZ) の血中・尿中及び心筋	
内濃度に関する研究	村 田 眞 司, 他 (236)
阻塞性黄疸における肝流入血遮断の許容限界と減黄効果に及ぼす影響	岡 田 喜 克 (275)
胆道シンチグラフィーによる胆石症例の Oddi 括約筋律動運動の観察	青 木 洋 三, 他 (289)
胆汁中細菌数の推移からみた胆道感染症の Ceftriaxone 1111 回投与療法	谷 村 弘, 他 (299)
癌性胸腹膜炎に対する Lentinan 胸腹腔内投与の試み	
——特に免疫学的検討を中心に——	吉 野 茂 文, 他 (310)
肝広範切除後の胆汁酸代謝, 特に拡大肝切除後早期の胆汁酸上昇機序に関	
する研究	田 矢 功 司 (347)
Anal Cancer: Current Concepts and Treatment Results	RAYMUND HORCH, 他 (391)
Ergebnisse der Behandlung des Leberechinokokkus durch	
Hydatektomie	RAYMUND HORCH, 他 (398)

Neurotensin に関する研究	藤 村 昌 樹 (405)
1. 胆嚢運動について	藤 村 昌 樹 (405)
Neurotensin に関する研究	藤 村 昌 樹 (414)
2. Neurtensin の放出について	藤 村 昌 樹 (414)
局所脳虚血に対する薬物の脳保護作用に関する実験的研究	椎 野 顯 彦 (431)
Part 1: : ラット局所脳虚血モデルの基礎的検討	椎 野 顯 彦 (431)
局所脳虚血に対する薬物の脳保護作用に関する実験的研究	椎 野 顯 彦 (438)
Part 2: ラット局所脳虚血に対するカルシウム拮抗剤の治療効果	椎 野 顯 彦 (438)
化膿性腹膜炎における抗生剤の体内濃度と除菌効果に関する実験的研究 (1)	東 芳 典, 他 (445)
出血性・敗血症性ショックにおける急性期カリクレイン・キニン系動態について	宮 本 正 章, 他 (475)
悪性脳腫瘍に対する特異的養子免疫療法の実験的研究	山 崎 俊 樹, 他 (485)

臨 床

Treatment of Anal Fissure: A Comparison of Three Different of Therapy	GERALD DENK GIEBEL, 他 (126)
脳幹部挫傷の MRI	岡 田 達 也, 他 (134)
脾嚢胞腺癌に合併した破骨細胞型巨細胞癌	青 木 洋 三, 他 (452)
トミロン®の外科領域における臨床的有用性の検討	
——皮膚軟部組織感染症を中心にして——	小 林 展 章, 他 (493)

症 例

石灰化を伴った脊髄腫瘍 2 例	四 方 實 彦, 他 (10)
腫瘍出血で発症した脳腫瘍症例	大 塚 信 一, 他 (11)
起炎菌が NON-O-1 Vibrio Cholerae であった急性閉塞性化膿性胆管炎の一例	西 川 雅 裕, 他 (135)
三叉神経痛と同側の顔面痙攣をきたした Epidermoid の一例	大 塚 信 一, 他 (145)
乳管造影にて異常所見のえられた微小非浸潤性乳管癌の 2 症例	西 田 峰 勝, 他 (250)
後頭蓋窩の Angiographically Occult Vascular Malformations	京 嵩 和 光, 他 (257)
脳転移を伴う原発性十二指腸乳頭上部癌と空腸癌の同時性重複癌の 1 例	宮 本 正 章, 他 (300)
急性大動脈閉塞症の 1 治療例	松 本 雅 彦, 他 (461)
多形膠芽腫の術後経過中に発生した交通性水頭症の 1 例	安 東 誠 一, 他 (508)
X 線透視下針生検で、術前診断しえた縦隔神経鞘腫の 1 例	周 防 正 史, 他 (516)
経鼻挿管中に突然生じた原因不明の気胸、皮下気腫、縦隔気腫の 2 例	中 島 正 之, 他 (522)
新生児胃破裂の成因考察	
——胃軸捻転、GER との類縁の可能性——	谷 川 允 彦, 他 (527)
第28回 近畿脳腫瘍研究会	(162)
第29回 近畿脳腫瘍研究会	(368)
昭和63年 京都大学脳神経外科同門会集談会	(320)
第19回 中国・四国神経外傷研究会	(182)
第27回 京大癌研究会	(331)
第12回 香川県整形外科集談会	(265)

第13回	香川県整形外科集談会	(269)
第10回	京滋食道疾患懇話会	(335)
第11回	京滋食道疾患懇話会	(337)
第12回	京滋食道疾患懇話会	(339)
第13回	京滋食道疾患懇話会	(342)
第 2 回	中国・四国脳腫瘍研究会	(466)
第 3 回	中国・四国脳腫瘍研究会	(535)

INDEX OF VOLUME 58

Author Index

[A]

Abe, Koki	493
Ando, Seiichi	508
Aoki, Yozo	289, 445, 452
Arii, Shigeki	389
Azuma, Yoshinori	445

[B]

Ban, Sadahiko	147, 245
Bessho, Hideaki	360

[F]

Fujii, Yoshiro	119
Fujimura, Masaki	1, 3, 405, 414
Fukunishi, Kenji	119

[G]

Giebel, Gerald Denk	126
Goi, Hitoshi	445

[H]

Hamagaki, Hitoshi	493
Hamanaka, Yuichiro	155
Hanagiri, Takeshi	493
Handa, Jyoji	134, 231, 257
Hara, Keibun	493
Hayashi, Hiroyuki	493
Hazama, Shoichi	310
Henmi, Kimio	299, 493, 516
Hijiya, Kazuyuki	493
Hirai, Fumihiko	493
Honda, Kazuo	493
Horch, Raymund	126, 391, 398

[I]

Iida, Hirokazu	140
Imai, Yasuo	250
Ino, Keiichi	493
Inomata, Yukihiro	217

Inoue, Akira	493
Ishigami, Shunich	493, 516
Ishii, Takahiro	445
Ishiyama, Kenji	475
Iwata, Shingo	493

[J]

Jaeger, Klaus	398
Jikko, Akira	516
Jono, Norifumi	250
Jujo, Hirokazu	493

[K]

Kaihara, Satoshi	516
Kakutani, Tomio	475
Kaneko, Ichiro	493
Kaneko, Iwao	493
Kashiwagi, Naoya	140
Kataoka, Masato	493
Kato, Hiroaki	493
Kawaguchi, Tomiji	289, 452
Kawamura, Masao	119, 360, 475
Kawashima, Hiroaki	39, 452
Kikuchi, Haruhiko	485
Kin, Morihiko	493
Kinoshita, Kenichi	493
Kinuta, Yuji	59
Kobayashi, Akira	236
Kobayashi, Masao	493
Kobayashi, Nobuaki	493
Kobayashi, Shuichi	43
Kodama, Etsuo	289, 452
Konishi, Yukio	527
Konishi, Yutaka	461
Koyama, Takanobu	493
Koyama, Tsunemaro	231
Kuriyama, Seiji	527
Kuyama, Takeshi	119, 360, 475
Kyoushima, Kazumitsu	257

[L]

Lee, Young Eun522

[M]

Majima, Masanori493
 Makino, Naohiko493
 Maniwa, Yoshio299
 Maruyama, Izumi493
 Masaki, Naoya493
 Matsuda, Masayuki522
 Matsumoto, Hiromi493
 Matsumoto, Masahiko461
 Matsumoto, Shigeo147, 245
 Matsumura, Kenichi134
 Miyamoto, Masaaki119, 360, 475
 Mizobuchi, Hiikaru93
 Mori, Kazunari452
 Mori, Keiichihiro493
 Mori, Shigeto493
 Moriki, Akihito107
 Morioka, Hideshi250
 Morotake, Kozo508
 Motozaki, Takahiko147, 245
 Mukaiharu, Sumio299, 493
 Murakami, Takuo250
 Muraoka, Ryusuke527
 Murata, Shinji236

[N]

Nagamatsu, Keisuke493
 Nakajima, Masayuki522
 Nakajima, Yoshiro493
 Nakamura, Masanori493
 Nakano, Masato493
 Nakasu, Satoshi257, 522
 Nakasu, Yoko193, 206
 Nakatsu, Shoji147, 245
 Nakazawa, Takuya257, 522
 Nishida, Minekatsu250
 Nishihara, Kiyoshi18
 Nishikawa, Masahiro155
 Nishioka, Akinori461
 Nishizawa, Hiroyasu516

Nishizawa, Junichiro461
 Noura, Motoshi493

[O]

Obara, Hiroshi493
 Oda, Yoshifumi473
 Ogata, Nobuyoshi71
 Ogawa, Hiroki493
 Ohama, Kazunori527
 Onishi, Satoshi493
 Oka, Masaaki310
 Okada, Tatsuya134
 Okada, Yoshikatsu275
 Okamoto, Mihoji299, 493
 Oshima, Shinichi516
 Osumi, Kiyoshi493
 Otani, Hiroshi493
 Otsuka, Shinichi147, 245
 Ozawa, Kazue217, 493

[R]

Roosen, Jutta391

[S]

Saito, Nobuo493
 Saito, Toru493
 Sakamoto, Takashi80
 Sakamoto, Yukitomo452
 Sano, Kaoru493
 Sasaki, Masakazu289, 452
 Sato, Shinichi147, 245
 Sato, Tomonobu299
 Sawada, Hisashi299, 516
 Setoyama, Motoichi273, 493
 Shiino, Akihiko431, 438
 Shikata, Jitsuhiko140
 Shimabukuro, Takashi493
 Shimahara, Yasuyuki493
 Shimomatsuya, Takumi527
 Shinya, Hisayuki3
 Shirane, Hirofumi245
 Shobu, Ryuji119, 360
 Stark, Gerhard Bjoern398
 Sudani, Ikuo493

Sudo, Takaaki	119, 360, 475
Sugimoto, Yoshihiro	289, 452
Sugitani, Akira	493
Suo, Masashi	516
Suzuki, Takashi	155, 191, 250, 310, 345

[T]

Takabayashi, Arimichi	299
Takada, Yasuji	493
Takahashi, Koji	527
Takemoto, Hiroshi	493
Takeuchi, Toshihiko	493
Tanaka, Koichi	217, 493
Tanaka, Tatsuro	493
Tanigawa, Nobuhiko	527
Tanimura, Hiroshi	289, 299, 445, 452
Taya, Koji	347
Terasaki, Mitsuhiro	493
Todo, Goro	134
Tominaga, Sumio	493
Tsubakimoto, Ryuji	119
Tsushimi, Kureo	493

[U]

Uchiyama, Kazuhisa	452
Ueda, Koshin	289, 452
Ueki, Shigeo	493
Uesaka, Kazunobu	289, 452

[W]

Watanabe, Ryoji	461
Wakabayashi, Haruo	493

[Y]

Yamamoto, Toyoshiro	147, 215
Yamamuro, Takao	140
Yamaoka, Yoshio	493
Yamasaki, Toshiki	485
Yamauchi, Akira	493
Yasuda, Chikao	119
Yoshida, Keisuke	299, 516
Yoshida, Masanori	493
Yoshino, Shigefumi	310

Subject Index

[A]

Acetylcholine.....	80
Acute obstructive suppurative cholangitis	155
Adoptive immunotherapy	107
Aggravating factor	3
Anal carcinoma	391
Anal fissure	126
Anal stretch	126
Anesthesia	414
Antibacterial effect	445
Antioxidant	59
Aortic occlusion	461
Apoplectic syndrome.....	147
Arteriovenous malformation	257
Astrocytoma	140

[B]

B. fragilis	445
Bacterial counts in bile	299
Be iplast P	231
Bile acid fraction	347
Bile duct	155
Biliary Ceftriaxone level	299
Biliary tract infection	493
Blood ketone body ratio.....	119
Boron	473
Brain protection.....	438
Brain tumor	18, 107, 147, 473, 485
Brainstem contusion.....	134

[C]

Calcification	140
Calcium antagonist	438
Calcium	43
Cancer recurrence	345
Carbohydrate antigen 19-9.....	452
Carcinoma of pancreas	452
Carcinomatous pleuritis	310
Cartinomatous peritonitis	310
Cavernous angioma	257
CAZ	236

Cefminox	445
Cefteram pivoxil	493
Ceftriaxone	299
Cerebral aneurysm	206
Cerebral blood flow	193
Cerebral ischemia	43, 59, 71, 193, 206
Cerebral metastasis from small intestinal cancer	360
Cerebrospinal fluid	508
Cerebrospinal fluid accumulation	231
Cerebrospinal fluid leakage	231
Chemical mediator	389
Cholecystokinin	3
Cholecystoknin-8	405
Cholescintigraphy	289
Choline acetyltransferase	93
Cholinergic neuron	80
Chronic pancreatitis	191
Clinical efficacy	493
Coagulation • fibrinolysis system	475
Communicating hydrocephalus	508
Computed tomography.....	147, 516
CTL	107
C-tube	1
Cystadenocarcinoma of pancreas	452
Cytoskeletal proteins	71
Cytotoxic T lymphocyte.....	18, 485

[D]

DMNA-induced liver cirrhosis	347
Delayed neuronal death.....	93
Diagnostic criteria	191
Diaphragmatic hernia	527
Different forms of treatment	126, 391
Digestive enzymes.....	191

[E]

Embolectomy	461
Endoscopic shincterotomy	289
Energy metabolism.....	43
Epidermoid	245
Etiological consideration	527

Etiology	126
Excretion in urine and filtrate	236
Exocrine pancreatic secretion	3
Experimental acute pancreatitis	3
Experimental cerebral infarction	431
Experimental ischemia	93
Extracorporeal circulation	236

[F]

Fat components	414
Fibrin	231
Flexible operation set	398
Focal brain ischemia	431, 438

[G]

Galactography	250
Gallbladder contraction	405
Gallstone disease	289
Gamma interferon	485
Gastric volvulus	527
Gastroesophageal reflux	527
Gene transfer	18
Gerbil	43
Glioma	107
Glucagon and Insulin	119

[H]

Head injury	134
Hemoconcentrator	236
Hemorrhagic shock	475
Hepatectomy	119
Hepatectomy of cirrhotic liver	347
High molecular weight kininogen	475
Hippocampus	93
Host defense	389
Hydatid disease of the liver	398
Hydrocephalus	80

[I]

Interruption of the hepatic artery	275
Immunohistochemistry	414
Immunology	473
Immunotherapy	18, 485
Imperforate anus	217

Interferon- γ	18
Interleukin 2	485
Interruption of both hepatic artery and portal vein	275
Interruption of the hepatic artery	275
Interruption of the portal vein	275
Intraperitoneal administration	310
Intrapleural administration	310
Irrigation and drainage	398

[J]

Jaundice	155
Juxta-papillary duodenal diverticula	289

[K]

Kallikrein-kinin system	475
KB-2796	438
Kupffer cell	389

[L]

LAK cell	107
Lentinan	310
Lipid peroxidation	59
Liver regeneration	119
Local recurrence	345

[M]

Magnetic resonance imaging	134, 257
Major histocompatibility complex	18
Malignant brain tumor	508
Malignant glioma	485
Massive hepatic necrosis	275
Mediastinal emphysema	522
Mediastinal tumor	516
Metrizamide CT cisternography	245
Microtubule-associated proteins	71
Minimal breast cancer	250
Monokine	389
Mononuclear phagocyte system	389
Monotricha	155
MRI	134
Muscarinic cholinergic receptor	93
Muscarinic receptor	80
Myocardial infarction	461

[N]

Nasotracheal intubation	522
Neck flexion	522
Needle biopsy.....	516
Neonatal gastric rupture.....	527
Neurilemmoma	140, 516
Neurofilament	71
Neurotensin.....	405, 414
Neurotransmitter	80
Neutron	473
Nicardipine.....	438
Nipple discharge	250
Non-O-1 <i>Vibrio cholerae</i>	155
Non-invasive ductal carcinoma	250

[O]

Once-daily dose treatment	299
Osteoclast-like giant cell carcinoma of pancreas	452

[P]

Painful tic convulsif	245
Pancreato-biliary cancer	345
Pancreatoduodenectomy.....	191, 345
Pelvis	217
Pharmacokinetics	445
Philosophy of medicine	273
Plasma and cardiac muscle levels	236
Pleomorphic giant cell carcinoma of pancreas	452
Pneumothorax	522
Poly (ADP-ribose) polymerase	119
Posterior fossa	257
Postoperative hepatic insufficiency.....	347
Postoperative intrahepatic cholestasis	347
Prekallikrein	475
Primary small intestinal cancer.....	360
Proglumide	3
Prolonged jaundice	275
Prophylaxis.....	493
Protease	71
Protease inhibitor	191
Purulent peritonitis in mice	445

[R]

Rabbit gallbladder strip	405
Radiation therapy	473
Rat middle cerebral artery.....	431
Rats	217
Recirculation.....	43, 193, 206
Release.....	414
Remnant gallstone	1
Results	126

[S]

Sacrum.....	217
Saddle embolism	461
Segmental perfusion of intestine	414
Septic shock	475
Skin and soft tissue infection	493
Somatosensory evoked potential	193, 206
Sphincter of Oddi.....	289
Spinal cord tumor.....	140
Subcutaneous emphysema	522
Superior mesenteric artery	345
Synchronous double carcinoma.....	360
System of medicine	273

[T]

T-tube drainage	1
Temporary vascular occlusion	206
Tissue adhesive	231
Trypan blue.....	217
Tumoral hemorrhage	147

[U]

Ultrasonography	516
-----------------------	-----

[V]

Value of abdomino perineal rectum resection	391
Venous angioma	257

[X]

Xanthine oxidase.....	59
-----------------------	----

第58卷 索引

人名索引

[A]

阿部 弘毅…………… 493
 安東 誠…………… 508
 青木 洋三…………… 289, 445, 452
 有井 滋樹…………… 389
 東 芳典…………… 445

[B]

伴 貞彦…………… 147, 245
 別所 偉光…………… 360

[F]

藤井 芳郎…………… 119
 藤村 昌樹…………… 1, 3, 405, 414
 福西 健至…………… 119

[G]

Giebel, Denk Gerald…………… 126
 五井 仁…………… 445

[H]

浜垣 仁…………… 493
 浜中裕一郎…………… 155
 花桐 武志…………… 493
 半田 譲二…………… 134, 231, 257
 原 慶文…………… 493
 林 博之…………… 493
 谿 彰…………… 310
 邊見 公雄…………… 299, 493, 516
 上屋 和之…………… 493
 平井 文彦…………… 493
 木田 和男…………… 493
 Horch, Raymund…………… 126, 391, 398

[I]

飯田 寛和…………… 140
 今井 泰雄…………… 250
 亥埜 恵…………… 493
 猪股裕紀洋…………… 217

井上 章…………… 493
 石上 俊一…………… 493, 516
 石井 孝弘…………… 445
 石山 堅司…………… 475
 岩田 辰吾…………… 493

[J]

Jaeger, Klaus…………… 398
 實光 章…………… 516
 城野 憲文…………… 250
 重城 博一…………… 493

[K]

貝原 聡…………… 516
 角谷 富男…………… 475
 金子 一郎…………… 493
 金子 巖…………… 493
 柏木 直也…………… 140
 片岡 正人…………… 493
 加藤 博明…………… 493
 川口 富司…………… 289, 452
 河村 正生…………… 119, 360, 475
 川嶋 寛昭…………… 289, 452
 菊池 晴彦…………… 485
 金 盛彦…………… 493
 木下 研…………… 493
 絹田 祐司…………… 59
 小林 彰…………… 236
 小林真佐夫…………… 493
 小林 展章…………… 493
 小林 修…………… 43
 児玉 悦男…………… 289, 452
 小西 行郎…………… 527
 小西 裕…………… 461
 小山 高宣…………… 493
 小山 素磨…………… 231
 栗山 政憲…………… 527
 久山 健…………… 119, 360, 475
 京崙 和光…………… 257

[L]

李 英彦..... 522

[M]

間嶋 正徳..... 493
 牧野 尚彦..... 493
 馬庭 芳朗..... 299
 丸山 泉..... 493
 正木 直也..... 493
 松田 昌之..... 522
 松本 浩生..... 493
 松本 雅彦..... 461
 松本 茂男..... 147, 245
 松村 憲一..... 134
 宮本 正章..... 119, 360, 475
 溝渕 光..... 93
 森 一成..... 452
 森 敬一郎..... 493
 森 重人..... 493
 森木 章人..... 107
 森岡 秀之..... 250
 森竹 浩三..... 508
 本崎 孝彦..... 147, 245
 向原 純雄..... 299, 493
 村上 卓夫..... 250
 村岡 隆介..... 527
 村田 眞司..... 236

[N]

永松 馨介..... 493
 中島 正之..... 522
 中島 芳郎..... 493
 中村 正則..... 493
 中野 正人..... 493
 中洲 敏..... 257, 522
 中洲 庸子..... 193, 206
 中津 正三..... 147, 245
 中澤 拓也..... 257, 522
 西田 峰勝..... 250
 西原 毅..... 18
 西川 雅裕..... 155
 西岡 昭規..... 461
 西澤 弘泰..... 516

西澤純一郎..... 461
 野浦 素..... 493

[O]

小原 弘..... 493
 織田 祥史..... 473
 緒方 伸好..... 71
 小川 博暉..... 493
 大浜 和憲..... 527
 大西 慧..... 493
 岡 正朗..... 310
 岡田 達也..... 134
 岡田 喜克..... 275
 岡本美穂二..... 299, 493
 大嶋 真一..... 516
 大隅喜代志..... 493
 大谷 博..... 493
 大塚 信一..... 147, 245
 小澤 和恵..... 217, 493

[R]

Roosen, Jutta..... 391

[S]

斎藤 信雄..... 493
 斎藤 徹..... 493
 坂本 貴志..... 80
 坂本 幸具..... 452
 佐野 薫..... 493
 佐々木政一..... 289, 452
 佐藤 慎一..... 147, 245
 佐藤 友信..... 299
 澤田 尚..... 299, 516
 瀬戸山元一..... 273, 493
 椎野 顯彦..... 431, 438
 四方 實彦..... 140
 島袋 隆..... 493
 嵩原 康行..... 493
 下松谷 匠..... 527
 新屋 久幸..... 3
 白根 博文..... 245
 菖蒲 隆治..... 119, 360
 Stark, Gerhard Bjoern..... 398
 須谷 生男..... 493

須藤	峻章	119, 360, 475
杉本	恵洋	289, 452
杉谷	章	493
周防	正史	516
鈴木	敵	155, 191, 250, 310, 345

[T]

高林	有道	299
高田	泰次	493
高橋	康嗣	527
竹本	寛	493
竹内	稔彦	493
田中	紘一	217, 493
田中	達郎	493
谷川	允彦	527
谷村	弘	289, 299, 445, 452
田矢	功司	347
寺崎	允洋	493
藤堂	義郎	134
富永	純男	493
椿本	龍次	119
都志見	久令夫	493

[U]

内山	和久	452
上田	耕臣	289, 452
植木	稠雄	493
植阪	和修	289, 452

[W]

渡部	良次	461
若林	陽夫	493

[Y]

山本	豊城	147, 245
山室	隆夫	140
山岡	義生	493
山崎	俊樹	485
山内	清明	493
保田	知生	119
吉田	圭介	299, 516
吉田	正則	493
吉野	茂文	310

物 件 索 引 (カタカナ表示の物件は、そのローマ字表記にしたがった)

[A]

悪性グリオーマ	485
悪性脳腫瘍	508
Anal carcinoma	391
Anal fissure	126
Anal stretch	126
アセチルコリン	80

[B]

バクテロデスフラジリス	445
ベリプラスト P	231
微小管結合蛋白質	71
ボロン	473

[C]

CA19-9	452
CAZ	236
Cチューブ	1
遅発性神経細胞死	93
中性子	473
CT ガイド針生検	516

[D]

大動脈閉塞	461
Different forms of treatment	126, 391
DMNA 肝硬変	347
同時性重複癌	360
動静脈奇形	257

[E]

エコーガイド針生検	516
エネルギー代謝	43
Etiology	126

[F]

フィブリン	231
Flexible operation set	398
腹腔内投与	310

[G]

外来遺伝子導入	18
---------	----

ガンマ型インターフェロン	485
癌再発	345
癌性腹膜炎	310
癌性胸膜炎	310
限外濾過装置	236
原発性小腸癌	360
GRE	527
グルカゴン・インスリン	119
凝固・線溶系	475

[H]

敗血症性ショック	475
皮膚軟部組織感染症	493
皮下気腫	522
非浸潤性乳管癌	250
放射線治療	473
放出	414
Hydatid disease of the liver	398

[I]

一時的脳血流遮断	206
一口一回投与	299
胃軸捻転	527
インターフェロン-ガンマ	18
インターロイキン 2	485
Irrigation and drainage	398
医療理念	273
医療システム	273
遺残結石	1

[J]

磁気共鳴法	134
実験脳虚血	93
実験的急性膵炎	3
実験的脳虚血	431
上腸間膜動脈	345
静脈性血管腫	257
縦隔気腫	522
縦隔神経鞘腫	516
重症化因子	3
術後肝不全	347
術後肝内胆汁うっ滞	347

十二指腸旁乳頭部憩室…………… 289

[K]

海馬…………… 93
 海綿状血管腫…………… 257
 肝動脈門脈同時遮断…………… 275
 肝動脈遮断…………… 275
 肝道シンチグラフィー…………… 289
 肝広範壊死…………… 275
 肝再生…………… 119
 感染予防…………… 493
 肝切除…………… 119
 カリクレイン・キニン系…………… 475
 カルシウム…………… 43
 カルシウム拮抗剤…………… 438
 KB-2796…………… 438
 血中ケトン体…………… 119
 経鼻挿管…………… 522
 頸部屈曲…………… 522
 血栓除去…………… 461
 血漿中・心筋中濃度…………… 236
 血流再開…………… 43
 騎乗血栓…………… 461
 気胸…………… 522
 キラーT細胞…………… 485
 キサンチンオキシダーゼ…………… 59
 コンピューター断層撮影…………… 147
 コレシストキニン-8…………… 405
 コレシストキニン…………… 3
 コリンアセチルトランスフェラーゼ…………… 93
 コリン神経…………… 80
 骨盤底筋群…………… 217
 高分子キニノーゲン…………… 475
 硬変肝切除…………… 347
 抗菌力…………… 445
 抗酸化物質…………… 59
 交通性水頭症…………… 508
 後頭蓋窩…………… 257
 クッパー細胞…………… 389
 局所脳虚血…………… 431, 438
 局所再発…………… 345
 頬状皮腫…………… 245
 胸腔内投与…………… 310
 急性閉塞性化膿性胆管炎…………… 155

[M]

慢性膵炎…………… 191
 麻酔…………… 414
 マウス化膿性腹膜炎…………… 445
 メディエーター…………… 389
 免疫療法…………… 18, 485
 免疫組織化学…………… 414
 メトリザマイド CT 脳槽造影…………… 245
 門脈遮断…………… 275
 モノカイン…………… 389
 MRI…………… 257
 ムスカリン受容体…………… 80, 93

[N]

内視鏡の乳頭括約筋切開術…………… 289
 ニカルジピン…………… 438
 non-O-1 *Vibrio cholerae*…………… 155
 脳動脈瘤…………… 206
 脳保護…………… 438
 脳幹挫傷…………… 134
 脳血流量…………… 193
 脳虚血…………… 43, 59, 71, 193, 206
 脳脊髄液…………… 508
 脳腫瘍…………… 18, 107, 147, 473, 485
 脳卒中様症状…………… 147
 尿中・濾液中排泄…………… 236
 乳管造影…………… 250
 ニューロフィラメント…………… 71
 ニューロテンシン…………… 405, 414
 乳頭異常分泌…………… 250

[O]

オッディ括約筋…………… 289
 黄疽…………… 155
 黄疽遷延…………… 275
 横隔膜ヘルニア…………… 527

[P]

Poly (ADP-ribose) 合成酵素…………… 119
 プレカリクレイン…………… 475
 プログルマイド…………… 3
 プロテアーゼ…………… 71

[R]

ラット	217
ラット中大脳動脈	431
レンチナン	310
Results	126
リンフォカイン活性化キラー細胞	107
臨床診断基準	191
臨床の有用性	493
頬上皮腫	245

[S]

細胞骨格蛋白質	71
細胞障害性Tリンパ球	107
細胞障害性T細胞	18
再灌注	193, 206
最小乳癌	250
鎖肛	217
酵素阻害剤	191
セフミノックス	445
セフテラム ピロボキシル	493
セフトリアキソン	299
成因考察	527
星状細胞腫	140
生体防御	389
脊髄腫瘍	140
石灰化	140
仙骨奇形	217
脂肪の成分	414
神経伝達物質	80
神経膠腫	107
神経鞘腫	140
心筋梗塞	4, 1
新生児胃破裂	527
脂質過酸化	59
小腸部位別還流	414
小腸癌脳転移	360
消化酵素	191
出血性ショック	475
腫瘍免疫	473
腫瘍出血	147
主要組織適合抗原	18

組織接着剤	231
総胆管	155
膝外分泌	3
膝癌	452
膝硬骨細胞型巨細胞癌	452
膝肌道癌	345
膝頭十二指腸切除	191, 345
水頭症	80
砂ネズミ	43

[T]

体外循環	236
体内動態	445
体性知覚誘発電位	193, 206
胆道感染症	493
胆道シンチグラフィ	289
胆汁酸分画	347
胆汁細菌数	299
単核食細胞系	389
単毛菌	155
胆汁中 CTRX 濃度	299
胆嚢収縮	405
胆石症	289
Tチューブドレナージ	1
トリパンプルー	217
頭部外傷	134
疼痛性顔面痙攣	245

[U]

ウサギ胆嚢筋条片	405
----------	-----

[V]

value of abdomino perineal rectum resection	391
---	-----

[X]

X線透視下針生検	516
----------	-----

[Y]

養子免疫療法	107
--------	-----

[Z]

髄液貯溜	231
髄液漏	231

日本外科学会函購読・投稿規定 (昭. 60. 1. 改正)

- 本誌は毎年1月, 3月, 5月, 7月, 9月および11月の各月1日に発行する。状況により臨時増刊を発行する。
- 予約購読料は昭和56年度より年額6,000円 (送料を含む) とし, 分売は1冊1,500円とする。予約購読希望者は1年間購読料を添え日本外科学会函購読部に申し込まれたい。
- 掲載論文の著者および共著者は本誌予約購読者でなければならぬ。
- 投稿原稿は編集者において必要と認める場合, 加筆・訂正することがある。
- 和文原稿は400字詰原稿用紙に横書きとし, 新かなづかいを用いること。なお, ワードプロセッサー使用の場合は, 1行20字×20行=400字をもって1枚とし, 一行おきにプリントすること。
- 欧文原稿は, タイプライターあるいは, 欧文専用のワードプロセッサーで作成する。
- 原稿の長さはおおよそ下記の限度とし, 和文原稿には欧文表題および欧文抄録, 欧文原稿には和文表題および和文抄録を添付されたい。
原著論文, 総説, 臨床, 400字詰40枚以内 (図表共)
症例報告, 研究速報, 400字詰15枚以内 (図表共)
- 原稿の用語中, 欧文固有名詞の頭文字は大文字を, 数字は原則としてアラビア数字を使用し, 日本語化した外国語は片かなで書くこと, 欧文中の人名にはアンダーラインを引くこと (文献を除く)。
- 数量の単位は下記の例による。
例: m, cm, mm, ml, kg, g, °C, μ, %, pH など。
- Key words 日本語, 英語のそれぞれ5語を選定し, 表題の下に記入すること。また欧文で文献請求宛名 (Present address) を記入されたい。著者の所属は正式名称に従われたい。
- 挿画, 図などは白紙または青色方眼紙に黒で清書し, 直ちに凸版製作可能な状態で送付されたい (学会発表などのスライド原稿は, 太字を用いることが多い

ため不適当である)。その挿入位置は原稿に記入のこと。

- 表, 写真などは, すべて別紙に記入もしくは添付し, 挿入箇所を原稿に記入のこと。
- 引用文献は一括して原稿末尾に記載する。原則として Index Medicus に準じアルファベット順に並べ, 日本語文献も筆頭者のローマ字名のアルファベット順に並べること, 著者名は3名までとし, その後はその他として省略する。

例。

- 1) Faris TD, Dikhan AJ, Marchioro TL, et al: Radioisotope scanning in auxiliary liver transplantation. Surg Gyn Obst **123**: 1261-1273, 1966.
- 2) 三宅 儀: 副腎皮質ホルモンの測定と臨床。最新医学 **6**: 769-782, 昭26.
- 3) Sissons HA: The growth of bone. In The Biochemistry and Physiology of Bone edited by Bourne. GH, New York, Academic Press Inc 1956, p. 72.
- 4) 所 安夫: 脳腫瘍。東京, 医学書院, 昭34.
- 5) Wolf S, Wolf HG: Human Gastric Function, London, Oxford University Press, 1943.

○掲載料は1頁欧文9,000円, 和文8,000円, 図表, 写真, アート紙の使用コタイプ, カラー図版などは著者の実費負担をする。

○別刷希望の場合は, 投稿と同時に希望部数を申し込まれたい。別刷は1頁20円を申しつける。

○原稿, 図表は必ずコピーを一部添付し送付されたい。

○原稿は完全なものとして御送付願いたい。著者校正の際における加筆訂正は認めない。

○原稿は書留郵便で下記編集室宛に送付されたい。原稿が当編集室へ到着した日付を受付日とする。

○なお原則として原稿は返却しない。

〒606 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学医学部外科整形外科教室内

日本外科学会函購読編集室宛

TEL (075) 751-3659

平成元年2月20日印刷

平成元年3月1日発行

編集兼発行者

京都市左京区聖護院川原町54

伴 敏 彦

印刷者

京都市上京区下立売通小川東入

中 西 亮

印刷所

京都市上京区下立売通小川東入

中西印刷株式会社

京都大学医学部外科整形科学教室

発行所

日本外科学会函購読編集室

代表者 伴 敏 彦

(振替口座 京都 4-3691)

本誌に掲載された論文の無断転載を禁じます。